



痛みなどないから 歯は健康だよ

歯周病は、自覚症状が乏しいため、痛みなどの症状がなくても歯周病になっていることがあります。



歯ぐきからの出血 しばらくすれば治るよね

歯磨きのときの歯ぐき(歯肉)からの出血は歯周病の初期症状かも。放置して自然に治ることはありません。



歯周病は 中高年の病気でしょ

歯周病は中高年以降に多いですが、10~20歳代においても歯周病の所見がみられることから、若い世代も歯周病ケアが必要です。



病態^{しそろうろう}歯槽膿漏と歯周病、 なにが違うの

歯周病は歯肉炎と歯周炎に大別され、歯周炎に膿が出る症状が加わった状態を歯槽膿漏とよびます。



歯周病予防の 歯磨き剤で歯周病は 治せるでしょ

歯周病予防をうたう歯磨き剤はある程度、予防効果が期待できますが、歯周病を治すことはできません。



虫歯がないから 歯周病にはならないよ

虫歯と歯周病とでは原因となる細菌が違うため、虫歯がなくても歯周病になる可能性があります。



歯が抜けても インプラントがあるさ

インプラントとは人工歯根のことですが、ケアが不十分だと歯と同じようにインプラント周囲炎になり、除去しなくてはいけなくなることがあります。



歯周病になっても 命にかかわることは ないでしょ

歯周病は全身にも悪影響を及ぼし、心筋梗塞などの命にかかわる病気のリスクを高めます。

歯周病は 歯を失う原因の 第1位!

トウースくん2号



トウースくん1号

歯周病に年齢は関係ないよ!
気づかぬうちに進行して、
歯だけでなく、
全身にも悪影響を及ぼすんだ。

歯周病のこと、誤解してない!

歯周病は感染症！

学んで防ぐ！歯周病

歯を支える歯周組織が破壊されるんだ

歯の“土台”が壊れるため 歯を抜かざるを得なくなる

歯周病は、歯肉や歯槽骨などの歯を支える土台の「歯周組織」が破壊される病気。進行すれば歯を支えきれなくなり、歯を失うことになります。また、1カ所に歯周病が発生すると、その周りの歯肉や歯槽骨にも影響が及び、1本歯を失うだけではすまなくなります。

歯は簡単に抜けないしくみになっています。それにもかかわらず歯周病が歯を失う原因の第1位なのは、進行するまで目立った症状がなく、知らないうちに歯周組織の破壊が進んでしまうからです。

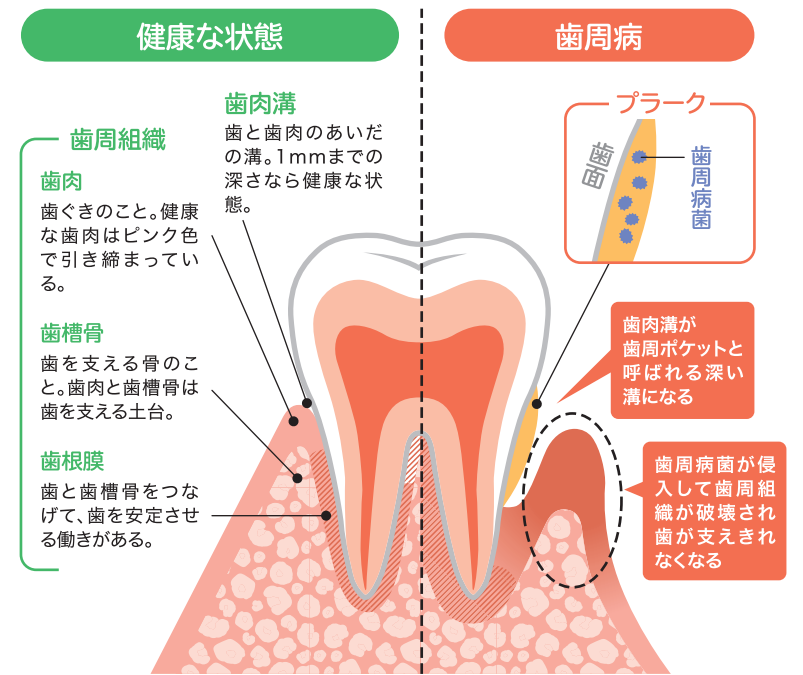


原因は「プラーク(歯垢)」

歯周病は、歯周病菌の感染によって起こる感染症です。

口の中には歯周病菌をはじめとするたくさんの細菌がすみついています。それらの細菌は、口の中の食べかすをエサに「プラーク」と呼ばれる白くてネバネバした物質を作りだし、歯や歯肉にべっとりと付着します。

プラークは数日で硬い「歯石」になり、その歯石にまたプラークが付着して、歯磨きでは除去することができなくなり、歯周病菌の温床になります。



歯周病の初期は「歯肉炎」、 進行すると「歯周炎」に

歯肉溝にプラークや歯石がたまる歯周病菌によって歯肉に炎症が起こり、「歯周ポケット」ができます。この状態を「歯肉炎」といい、プラークや歯石を徹底的に取り除けば症状の改善が期待できます。

しかし、歯肉炎を放置すると「歯周炎」に進行します。歯周病菌が増殖してプラークが歯周ポケットの奥へ侵入し、歯槽骨や歯根膜が破壊されはじめます。プラークや歯石が歯周ポケットにたまると取り除くのがむずかしく、歯周病菌が歯周組織を攻撃して歯槽骨が溶けていきます。

歯周病の進み方

歯周病の進行段階は歯周ポケットの深さが目安となります。

歯肉炎

歯周ポケットの深さは**1~3mm**

- 歯肉が炎症を起こして赤く腫れ、歯磨きのときに出血しやすくなる。
- 歯肉溝が深くなる。

歯肉の炎症は免疫反応によるもの

プラークの中の歯周病菌が歯肉に接すると、体の免疫反応によって歯周病菌や菌が作り出す毒素などを排除しようとする。この働きによって歯肉が炎症を起こし、赤く腫れる。

歯周炎

軽度歯周炎

歯周ポケットの深さは**3mm以下**

- 歯肉の炎症が広がり、歯槽骨や歯根膜の破壊がはじまる。
- 歯周ポケットができる。
- 歯周ポケットにプラークや歯石がたまる。

中等度歯周炎

歯周ポケットの深さは**4~6mm**

- 歯肉の炎症が拡大する。
- 歯槽骨の破壊が進み、歯がグラつく。
- 歯肉から血や膿がでる。

重度歯周炎

歯周ポケットの深さは**7mm以上**

- 歯の根がむきだしに。
- 歯槽骨のほとんどが破壊される。(50%以上)
- 歯肉が腫れて痛み、やがて歯が抜け落ちる。